

「VA エコーにおける血管造影との乖離症例の対比」についてのご説明

1. 本研究の意義および目的

血液透析シャントの狭窄に対し、VAIVT(シャント PTA)が行われる際、執刀医はVA エコー(シャントエコー)の結果から、治療戦略を立てて目標の狭窄部へアプローチができる静脈を穿刺し、血管造影後に治療を行います。VAIVT 前のVA エコー時に狭窄部が正しく指摘できていないと、VAIVT 時に再度、別の部位を穿刺しなければならぬ場合があります。患者様への負担が増加します。VA エコー評価と血管造影結果の乖離症例の特徴を明らかにすることで、狭窄部を正しく指摘でき、医師の治療計画への貢献や患者様の負担軽減につながることを目的とします。

2. 研究の方法

当院で2021年8月から2023年2月の期間にVAIVT前にVA エコーを行った全患者様を対象とします。VA エコー評価と血管造影結果の乖離症例数を調査します。乖離が頻発する部位、血管の太さ、シャント作製部位、上腕動脈血流量、理学所見の有無、機器設定・条件など、共通理由があるかどうかを分析します。

3. 試料等の保存および使用方法について

記録の保管責任者は研究責任者とします。被験者から提供された研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されるため、被験者の個人情報外部に漏れることは一切ありません。また、他の機関では利用しません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究論理審査委員会承認後～2024年3月31日です。

2021年8月～2023年2月の調査対象期間で乖離のある全症例予定しています。

5. 個人情報の取り扱いに関して

研究成果を学会、雑誌等外部に発表する場合には、研究責任者の責任のもと取り扱うこととします。その際は、個人が誰であるか分からないように匿名化した上で発表します。

6. 本研究への参加を拒否する場合

被験者（および代諾者）より参加拒否の申し入れがあった場合は随時可能です。本研究への参加に同意しない場合は、8. 連絡先までご連絡下さい。

7. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究の利害関係については、研究倫理審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

8. 研究機関、研究責任者および連絡先

研究機関 社会医療法人川島会川島病院

研究責任者 日野純樹 連絡先 088-631-0110